

短 報

岡山県産イトモロコに寄生していたイカリムシ*

長澤和也・青戸祐介・河合幸一郎

Lernaea cyprinacea (Copepoda: Lernaeidae) parasitic on *Squalidus gracilis gracilis* (Cyprinidae) in Okayama Prefecture, Japan

Kazuya NAGASAWA, Yusuke AOTO,
and Koichiro KAWAI

Abstract A gravid female of the lernaeid copepod *Lernaea cyprinacea* Linnaeus, 1758 was collected from *Squalidus gracilis gracilis* (Temminck and Schlegel, 1846) (Cypriniformes: Cyprinidae) in the Seono River, a tributary of the Kurashiki River, Okayama City, Okayama Prefecture, Japan on 19 June 2016. This fish is endemic to Japan, and the present collection represents a new host record for *L. cyprinacea*.

イカリムシ *Lernaea cyprinacea* Linnaeus, 1758 は世界各地の淡水魚類に寄生するカイアシ類の 1 種である (Kabata, 1979). 最近, 筆者らはイカリムシの宿主として報告のないイトモロコ *Squalidus gracilis gracilis* を岡山県で採集した際, イカリムシの寄生を確認したので報告する.

2016 年 6 月 19 日, 岡山市南区内尾を流れる倉敷川の支流, 妹尾川 (34°36'18"N, 133°51'50"E) でイトモロコ 1 尾 (標準体長 69 mm), コウライモロコ *Squalidus chankaensis tsuchigae* 1 尾 (57 mm), モツゴ *Pseudorasbora parva* 1 尾 (62 mm), ヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* 1 尾 (53 mm), ギンブナ *Carassius* sp. 1 尾 (93 mm) を採集した. これらを広島大学に持ち帰って細谷 (2013) に基づいて同定後, 寄生虫を調べたところ, イトモロコにイカリムシ雌成体 1 個体 (図 1) の寄生を認めた. イカリムシは, 頭部を含む体前部を宿主の尻鰭基部から体側筋肉に挿入させ, 体後部を水中に露出させていた. 生時の体色は薄暗黄色で, 胴部後端近くに懸着する 1 対の卵嚢は薄緑色を呈していた. 水中に露出していた胴部の前部と後部には有柄繊毛

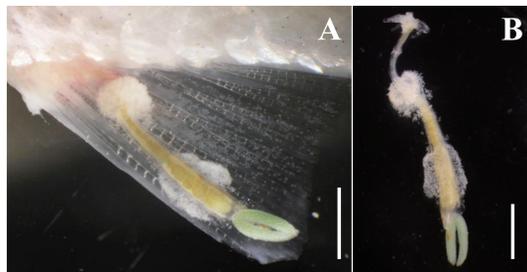


図 1 岡山市倉敷川の支流, 妹尾川で採集したイトモロコの尻鰭基部に寄生するイカリムシ雌成体 (A) と摘出個体 (B). スケール: 2 mm (A); 2 mm (B).

Fig. 1. Gravid female of *Lernaea cyprinacea* infecting the base of the anal fin of *Squalidus gracilis gracilis* from the Seono River, Okayama City, Okayama Prefecture, Japan (A) and a specimen of *L. cyprinacea* (7.9 mm in body length) removed from the host (B). Scale bars: 2 mm (A); 2 mm (B).

虫類が付着していた. イカリムシの体長は 7.9 mm であった.

イトモロコは日本固有亜種であり (細谷, 2015), これまでにイカリムシがイトモロコに寄生した記録はないため (Nagasawa *et al.*, 2007 を参照), ここでイトモロコをイカリムシの新宿主として追加する. 本報告以前の岡山県におけるイカリムシの記録は, 養殖ニホンウナギ *Anguilla japonica* からのものが唯一である (笠原, 1962).

イカリムシ標本は現在, 70% エタノール液中に保存され, 詳細な形態学的研究が終了した後に国立科学博物館に収蔵される予定である.

【文献】

- 細谷和海 (2013) コイ科魚類. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索 全種の同定 第三版, 東海大学出版会, pp. 303-327.
- 細谷和海 (編) (2015) 日本の淡水魚. 山と溪谷社, 東京, 527 pp.
- Kabata, Z. (1979) *Parasitic Copepoda of British fishes*. Ray Society. 468 pp.
- 笠原正五郎 (1962) 東大水産実験所業績, (3): 103-196.
- Nagasawa, K., A. Inoue, S. Myat and T. Umino (2007) *J. Grad. Sch. Biosp. Sci., Hiroshima Univ.*, **46**: 21-33.

(広島大学大学院生物圏科学研究科)

*ホシザキグリーン財団委託業績 第 106 号